

南三陸町病院 事業改革プラン

▶ 経営の効率化における数値目標と実績

1) 収支改善に係るもの	平成27年度 (実績)	平成28年度 (目標)	平成28年度 (実績)
医業収益 (百万円)	715	1,165	1,185
	1,368	1,794	1,882
	1,283	1,722	1,739
	1,410	1,919	2,008
	△127	△197	△269
	△128	△203	△275
2) 経費削減に係るもの	平成27年度 (実績)	平成28年度 (目標)	平成28年度 (実績)
材料費の対医業収益比率 (%)	16.2	12.9	13.6
3) 収入確保に係るもの	平成27年度 (実績)	平成28年度 (目標)	平成28年度 (実績)
病床利用率 (%)	65.40	85.00	85.60
透析患者数 (人)	381	3,200	3,271
4) 経営の安定性に係るもの	平成27年度 (実績)	平成28年度 (目標)	平成28年度 (実績)
医師数 (人)	7	7	7
看護職員数 (人)	45	62	62
職員数 (常勤) (人)	82	109	109

経営の効率化に関する項目についての数値目標に係る実績は上記のとおりとなっています。

平成28年度の損益は、新病院の開院によって前年度まで交付されていた県補助金200百万円の減により純損失の増となったものです。

しかし、開院以降の病床利用状況は順調に推移しており、医療圏内の急性期病院や介護施設などと連携しながら病床利用率を今後も高い水準で維持していくことを目標とします。

また、透析診療体制の充実を図るとともに、患者受入体制を整備していきます。

今後は、なお一層の医業収益の向上に努めるとともに持続的な健全運営を図るために、効率的運営による費用削減に努め収支の改善を目指します。

■ 南三陸病院総務課 ☎46-3646

南三陸町病院事業改革プランとは

少子高齢化の急速な進行、医師や看護師などの医療技術員の不足など、医療を取り巻く環境が大きく変化していく中でも、町民の皆さんにとって安全安心な地域医療を持续的に提供していくよう定めた、病院の基本的な運営方針です。南三陸町第2次総合計画、病院建設基本計画、宮城県による地域医療構想などを踏まえ、南三陸病院が担うべき役割の明確化や効率化などについて、具体的な数値目標と取組内容を定めています。

平成28年度から32年度を対象期間とし、毎年9月の決算認定とともに検証を行い、検証結果を12月に公表することとしています。

改革プランの4つの柱

南三陸町病院事業改革プランは、(1) 地域医療構想を踏まえた役割の明確化、(2) 経営の効率化、(3) 再編・ネットワーク化、(4) 経営形態の見直しと、大きく4つの柱で構成されています。今回はその中から(1)と(2)の数値目標と実績をお知らせします。

なお、詳細は、病院ホームページに12月中旬ごろ掲載します。

▶ 地域医療構想を踏まえた役割の明確化における数値目標と実績

1) 医療機能・医療品質に係るもの	平成27年度 (実績)	平成28年度 (目標)	平成28年度 (実績)
1日当たり平均入院患者数(人)	35.0	75.0	77.1
1日当たり平均外来患者数(人)	184.1	200.0	200.7
手術件数(件)	—	40	26
卒後臨床研修医受入数(人)	8	10	10

参考	H27年度	H28年度	前年度対比
延入院患者数(人)	12,806	28,139	15,333増
延外来患者数(人)	43,823	48,760	4,937増

南三陸病院は地域の基幹病院として二次救急医療を担うとともに、南三陸町唯一の病院として住民の皆さんの多様な要望を踏まえながら外来診療の充実に努めます。入院については、医療圏内の各医療機関などと連携しながら一般病床および療養病床の効果的効率的活用を図ります。

また、医師臨床研修、医科大学生などの地域医療実習の受け入れを積極的に行うことにより、将来の地域医療を担う医師の充足が図られるよう努めます。